

3 施策達成状況報告

(1) 本報告書（施策達成状況報告）の見方

行政評価システムに基づいて、施策体系の施策・基本事業の全てにその目的と目的達成状況（成果指標）、資源配分（事業費の状況）、施策目的達成への評価コメントを掲載しています。

[施策]の見方

【江別市】 施策達成度報告書

施策体系での位置づけ
まちづくりの設計図での名称です

政策 01 環境と調和する都市の構築

施策 01 循環型社会の形成

主管課 環境室清掃管理課

施策の実施
責任部署

施策の環境変化と課題

施策の環境変化(22年度)	施策の課題(22年度)
大型ごみの戸別有料収集の開始 (H22.10月実施)	<ul style="list-style-type: none"> 発生・排出抑制の啓発・支援 集団資源回収の推進

施策をとりまく環境の変化や課題についてのコメントです

施策の目的

市民・事業者・行政の協働により、資源がリサイクルされ、ごみ排出量が減ることにより環境負荷の少ないまちを目指します。

対象(誰を対象とした指標か)

市民、事業者、行政

意図(対象をどのように)

資源がリサイクルされ

施策がめざす目的をあわらしめます。
対象:誰を、何を
意図:どんな状態にしたいか

施策の目的をあらわす指標の動き(成果指標)

施策の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
家庭系ごみ、事業系ごみ及び資源物排出量	t	42,539	41,837	42,419		41,966
市民1人当たりごみ排出量	g/日	724	713	724		720

施策の目的達成状況を市民にわかりやすく示すための成果指標とその現状値の推移です。
この推移により施策の進捗状況を把握できます。

施策の達成状況(22年度)


ごみの排出量は、可燃ごみについては昨年夏の猛暑の影響などにより、不燃ごみについては大型ごみ
があります。今後もごみ減量施策を進め、市民の減量意識の向上を図っていく必要があります。

施策目的の達成状況について
行政としての評価・コメントです。

施策事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度当初予算
トータルコスト(千円)	1,808,174	1,813,778	1,840,368
事業費(千円)	1,559,235	1,576,008	1,591,916
人件費(千円)	248,939	237,770	248,452

施策目的実現のために投入している
コストを、施策ごとに報告します。

[基本事業]の見方

	01 ごみの発生・排出の抑制	施策を実現する手段である基本事業の名称です。
基本事業の目的		基本事業がめざす目的をあらわします。 対象: 誰を、何を 意図: どんな状態にしたいか
市民・事業者それぞれが、過剰包装の廃止や生ごみの堆肥化など製造・流通「ことにより、ごみの発生量・排出量を減らします。		
対象(誰を対象とした指標か)	市民、事業者	意図(対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)
ごみの発生・排出量の抑制		

基本事業の目的をあらわす指標の動き(成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
家庭系のごみ排出量	t	32,575	31,770	32,140		32,050
事業系のごみ排出量	t	9,964	10,067	10,279		9,916

基本事業の目的達成状況を市民にわかりやすく示すための成果指標とその現状値の推移です。この推移により施策の進捗状況を把握できます。

基本事業の達成状況(22年度)

家庭系ごみ、事業系ごみ共に22年度については前年度と比べ微増となっています。この排出量が増加したことや、家庭系、事業系ともに自己搬入量が多かったことによるもの(一定程度進んだものと考えられることから、今後もごみ排出量の抑制を進めるため、市民啓発活動を進めます。

基本事業の達成状況について行政としての評価・コメントです。

基本事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度当初予算
トータルコスト(千円)	19,770	26,095	
事業費(千円)	1,514	1,109	
人件費(千円)	18,256	24,986	

基本事業に投入しているコストを事業費と人件費に分けて報告します。

02 ごみ資源化の推進

基本事業の目的

市民・事業者それぞれが、分別収集やリサイクルなど積極的にごみの資源化を推進することにより、再利用・再資源化率を増やします。

対象(誰を対象とした指標か) 市民、事業者

意図(対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい) 再利用・再資源化率を増やす。

基本事業の目的をあらわす指標の動き(成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
回収資源化量	t	10,883	12,281	11,058		12,836
資源化率	%	25.6	29.4	26.1		30.6

基本事業の達成状況(22年度)

集団資源回収量が減少傾向にありますが、これは社会環境の変化や資源回収ルートが多様化が進んだことが要因と考えられます。市の資源物収集量や資源物の回収拠点の状況を見ると、市民の資源化に対する意識が広まってきていることから、今後も市民に対する啓発活動を継続的に進めていくことが重要であります。

基本事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度当初予算
トータルコスト(千円)	98,642	78,390	81,188
事業費(千円)	53,833	51,792	54,307
人件費(千円)	44,809	26,598	26,881